

大切なみんなのお金だから

# 村の予算 見てください

## 17年度の財政状況(下半期)

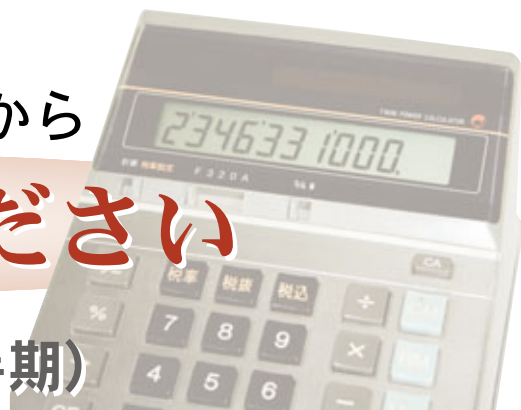


表1 一般会計予算の補正状況 (▲印は減額分 単位：千円)

■歳入23億4千6,331千円					
区分	当初予算額	4月~9月補正額	10月~3月補正額	最終予算額	構成率
村 税	163,326	0	11,442	174,768	7.4
地方交付税	1,370,000	35,694	27,221	1,432,915	61.1
国庫支出金	68,429	4,979	▲15,782	57,626	2.5
県 支 出 金	148,001	18,777	9,198	175,976	7.5
繰 入 金	43,141	4,707	2,032	49,880	2.1
そ の 他	175,903	4,848	55,215	235,966	10.1
村 債	215,700	2,900	600	219,200	9.3
歳入計	2,184,500	71,905	89,926	2,346,331	100

■歳出23億4千6,331千円					
区分	当初予算額	4月~9月補正額	10月~3月補正額	最終予算額	構成率
議 会 費	57,617	292	67	57,976	2.5
総 務 費	367,342	35,198	81,732	484,272	20.6
民 生 費	305,284	3,854	▲2,735	306,403	13.1
衛 生 費	130,048	▲1,532	▲4,385	124,131	5.3
農林水産業費	323,983	▲3,984	▲2,260	317,739	13.5
商 工 費	31,857	1,417	11,273	44,547	1.9
土 木 費	73,495	16,340	2,242	92,077	3.9
消 防 費	153,683	0	352	154,035	6.6
教 育 費	200,194	1,775	6,242	208,211	8.9
公 債 費	539,679	10,500	▲1,140	549,039	23.4
そ の 他	1,318	8,045	▲1,462	7,901	0.3
歳出計	2,184,500	71,905	89,926	2,346,331	100

表2 特別会計予算の補正状況 (▲印は減額分 単位：千円)

会計名	当初予算	4~9月補正額	10月~3月補正額	平成16年度最終予算額
国民健康保健特別会計	449,360	▲3,961	66,799	512,198
国民健康保健 医 科	145,500	▲63	8,482	153,919
診療施設会計 歯 科	69,500	133	2,041	71,674
簡易水道特別会計	171,900	3,459	15,123	190,482
休養施設事業特別会計 くろさき荘	103,653	171,941	9,573	285,167
まついそ	24,654	13,882	1,367	39,903
緑の村	3,000	1,000	▲641	3,359
老人保健事業	297,500	8,042	▲42,313	263,229
漁業集落排水事業	21,300	489	136	21,925
合 計	1,286,367	194,922	60,567	1,541,856

### 予算は1年の計画

村の予算は、村民の皆さんの生活を守るために、村が1年間(4月から翌年3月まで)どのようにお金を使うかという計画を計画するものです。

村では、村民税や固定資産税などの村税、地方交付税や国庫支出金などの収入で一年の予算を組み、住みよい村づくりに全力を注いでいます。平成17年度の予算がどのように使われてきたのか、平成18年3月31日現在の予算状況(平成17年10月1日から平成18年3月31日)17年度下半期)をお知らせします。

その予算の中には、皆さんから納めていただいた大切な税金も含まれています。

行政では一般的に家庭でいう収入は歳入、支出は歳出といわれています。平成17年度最終の予算額は歳入・歳出ともに23億4633万1千円(左表1)となつています。

### 補正はお金の増減

特別会計は一般会計とは別に、その会計ごとの収入で支出を賄うことを基本とします。村には国民健康保険や簡易水道、休養施設事業など六つの特別会計があります。(左表2)

補正は最初に決めた予算がいろいろな理由で足りなくなつたり、残つたりしたものを増減することです。これを補

正予算といい、増減には議会の議決を得なければなりません。

村議会は6月、9月、12月、そして翌年の3月の4回の定例会を開きます。それ以外に、緊急に予算を変更しなければならぬ場合などには、臨時会を開き議会の承認を得なければなりません。

平成18年度も前年度にまして厳しい状況です。少ない予算を有効に使いながら、いかに支出を減らして収入を増やすかが、今後の課題です。